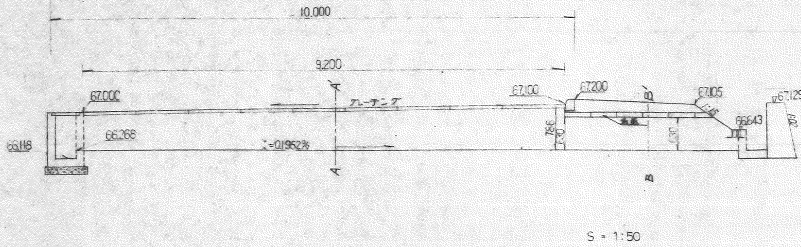
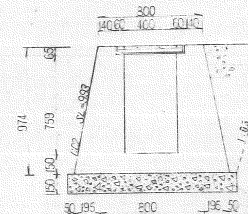


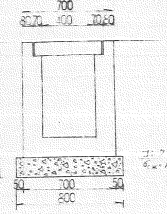
横断側溝断面図 S₁/20



A-A'断面 S=1:20

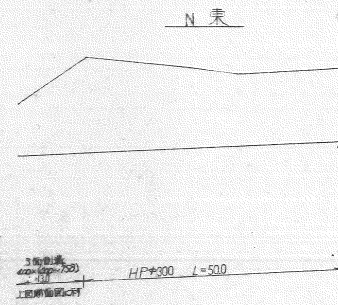
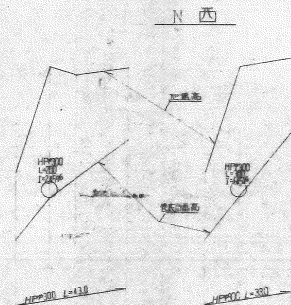
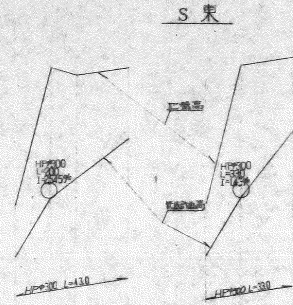
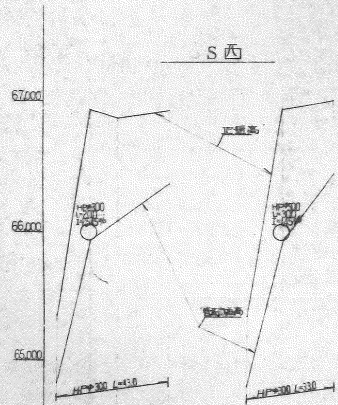


B-B'断面 S=1:20



材料表

	A-A'断面	B-B'断面	合計
砕石E	1.78	7.40	2.15
コンクリート	2.08	0.88	1.50
埋砂	36.19	11.49	47.68
凡子土	9.2	—	9.2
青瓦	—	50	50



距離	0	13.0	33.0	43.0
地面高	67,420	65,991	66,076	66,386
管底高	66,800	66,304	66,570	66,326
管径	φ150	φ150	φ150	φ150

距離	0	13.0	23.0	43.0
地面高	65,450	64,951	64,976	65,386
管底高	64,800	64,304	64,570	64,326
管径	φ150	φ150	φ150	φ150

距離	0	13.0	23.0	43.0
地面高	65,600	65,101	65,126	65,536
管底高	65,000	64,504	64,770	64,526
管径	φ150	φ150	φ150	φ150

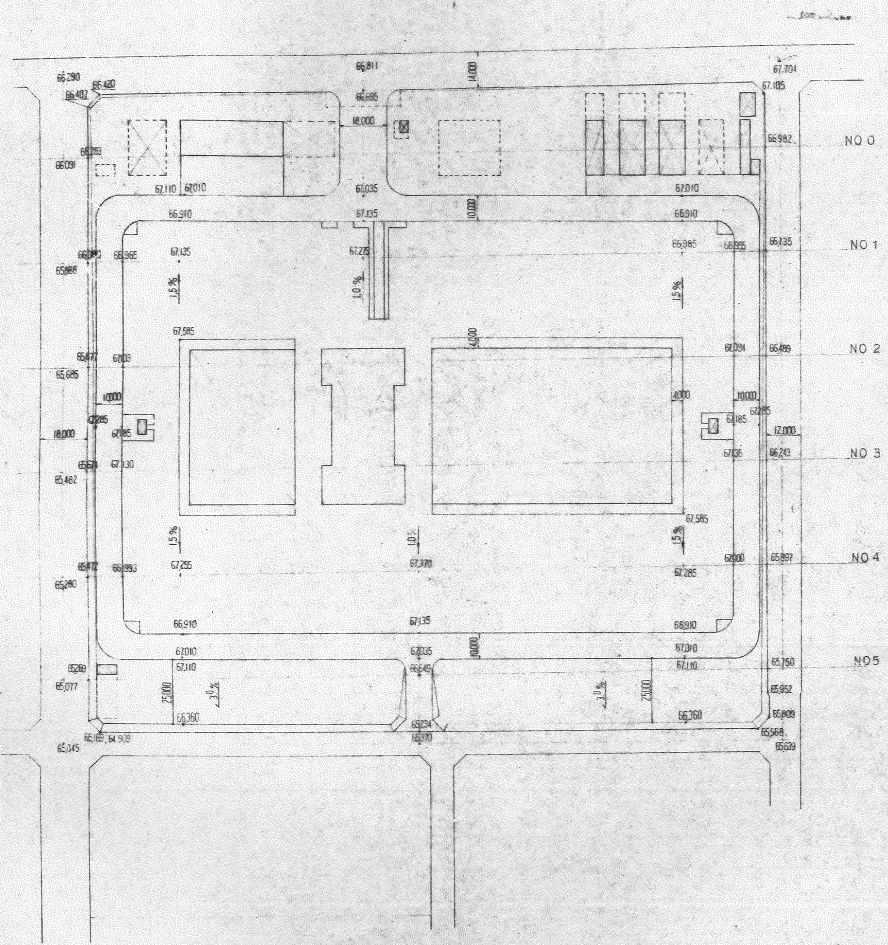
距離	0	13.0	33.0	43.0
地面高	66,203	65,206	66,307	66,330
管底高	65,600	65,104	66,205	66,228
管径	φ150	φ150	φ150	φ150

備考

整理番号

承認 調査 設計 設計年月日 55.9.11 全案 No. 506

工事名 伊勢崎市公設地方卸売市場建設 工事 四国名水排水管渠断面図 Scale 1/50 1/20

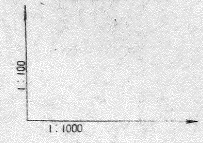
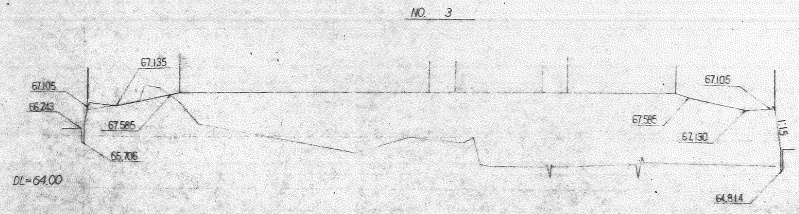
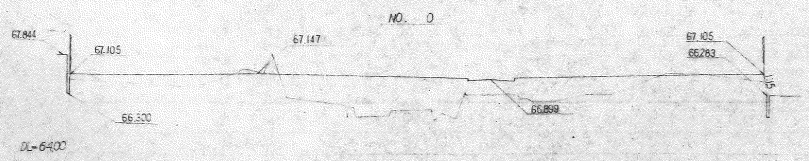
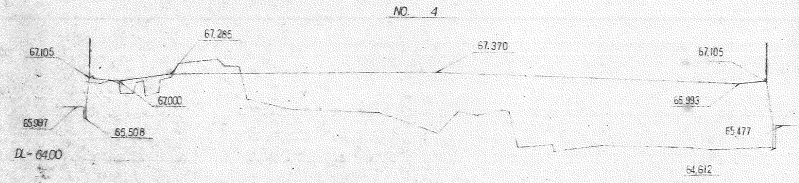
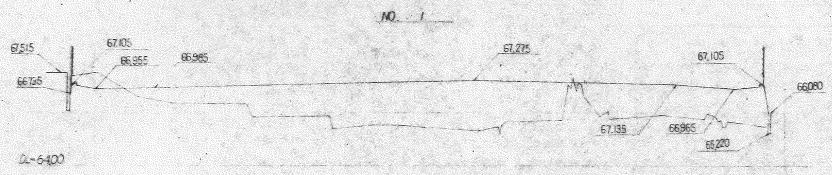
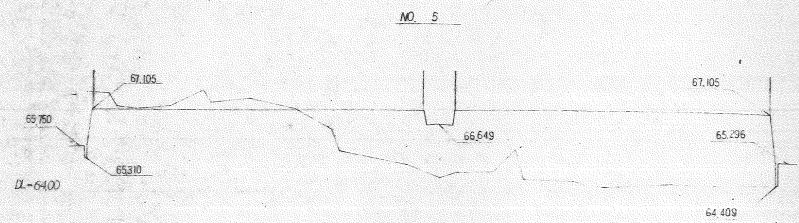
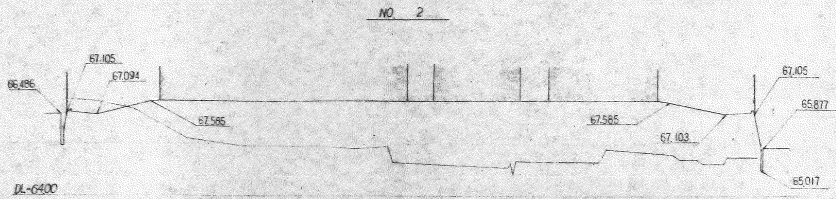


備考

整理番号

承認 調査 設計 設計年月日 全葉 No. 55 9 11 507

工事名 伊勢崎市公設地方卸売市場建設 工事
 図面名称 概面計画図 Scale 1/1000

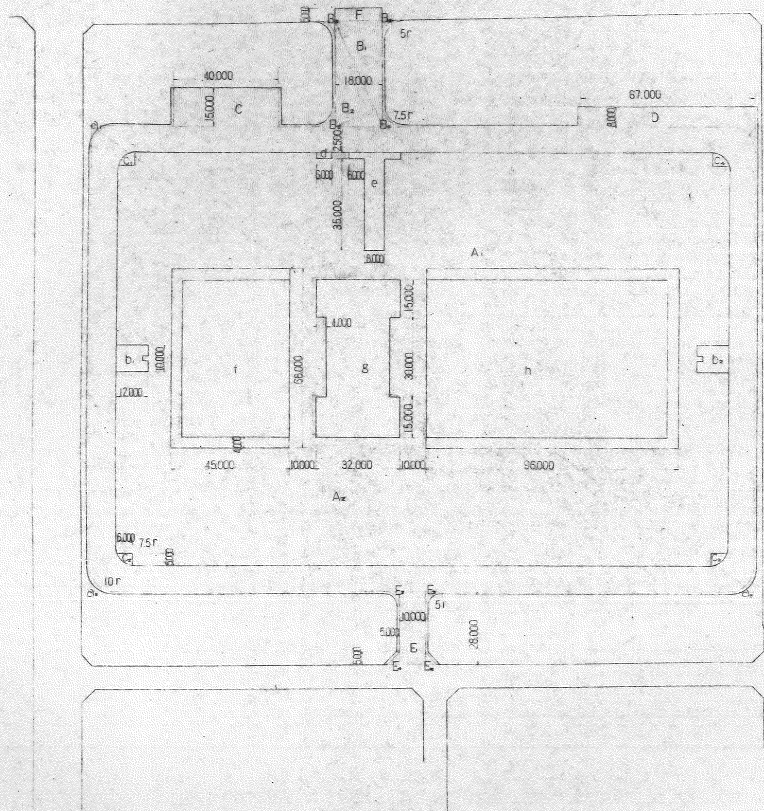


備考

整理番号

承認 調査 設計 設計年月日 全案 No. 55-9 11 508

工事名 伊勢崎市公設地方卸売市場建設 工事 図面名称 棟断面図 Scale 1/100 1/1000



○	天 層: 樓梯口
○	上層樓梯: 柱位圈
○	下層樓梯: 柱位圈(由A到B)
○	(路床C及D以上)
○	上部路床山頂(C及D以上)
○	最大徑 200以下
○	下部: 山頂(C及D以上)

面積匯成

總面積 63,542.13 m²

路在面積 16,356.51 m²

淨地面積 35,167.45 m²

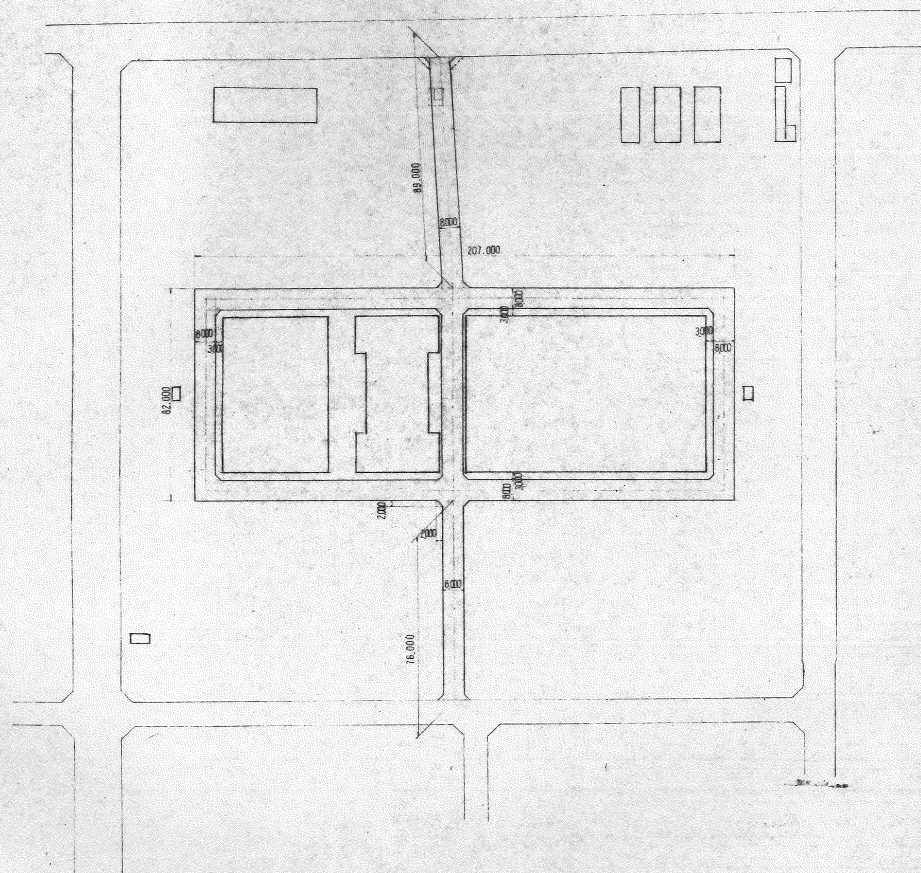
(總面積) + (外圍) + D₁₂ + C₁₂₃₄
 d + e + f + g + h
 35,167.45 + (528.33 × 1) + 232 + 46.2
 + 15 + 330 + 3060 + 1680 + 6528

- A₁ $\frac{310 \times 168}{2} = 22,630.0$
- A₂ $\frac{310 \times 168}{2} = 22,630.0$
- B₁ $\frac{44 \times 17}{2} = 374.0$
- B₂ $\frac{44 \times 16}{2} = 352.0$
- B_{2a} $\frac{10 \times 10 - 1 \times 1^2}{2} = 10.75$
- B_{2b} $\frac{15 \times 15 - 1 \times 1^2}{2} = 24.18$
- C 40 × 15 = 600.0
- D 47 × 8 = 376.0
- E 28 × 10 = 280.0
- E₂₃ $\frac{10 \times 10 - 1 \times 1^2}{2} = 10.75$
- E₄₅ 5 × 5 = 25.0
- F 5 × 18 = 90.0
- d₁₂₃ $\frac{3(20 \times 20 - 1 \times 1^2)}{4} = 44.5$
- d₁₂ 2(12 × 10 - 2 × 2) = 232.0
- d₁₂₃₄ $\frac{15 \times 15 - 1^2}{4} = 46.2$
- d 2.5 × 6 = 15.0
- e 35 × 8 + 2.5 × 20 = 330.0
- f 45 × 68 = 3060.0
- g 32 × 60 - 2(4 × 5) = 1680.0
- h 40 × 68 = 6528.0

淨地部面積 16,133.95 m²

(總面積) - (總地部面積) + D₁₂ + C₁₂₃₄
 d + e + f + g + h - F
 63,542.13 - (35,167.45) + 232 + 46.2
 + 15 + 330 + 3060 + 1680 + 6528
 - 90

* 47,567.45 - 12,003.7 = 35,563.75
 √ 35,563.75 = 188.61
 35,563.75 - 188.61 = 35,167.45 m²



平均 33.3坪/200㎡位

主棟計算
 $(80 \cdot (80.0 - 76.0 \cdot 2 + 237.0) + 3 \cdot 66.0)$
 $\cdot (16 \cdot \frac{1}{2} \cdot 20 \cdot 20) \cdot 0.05 = 12 = 3748.9 \text{ m}^2$

備考

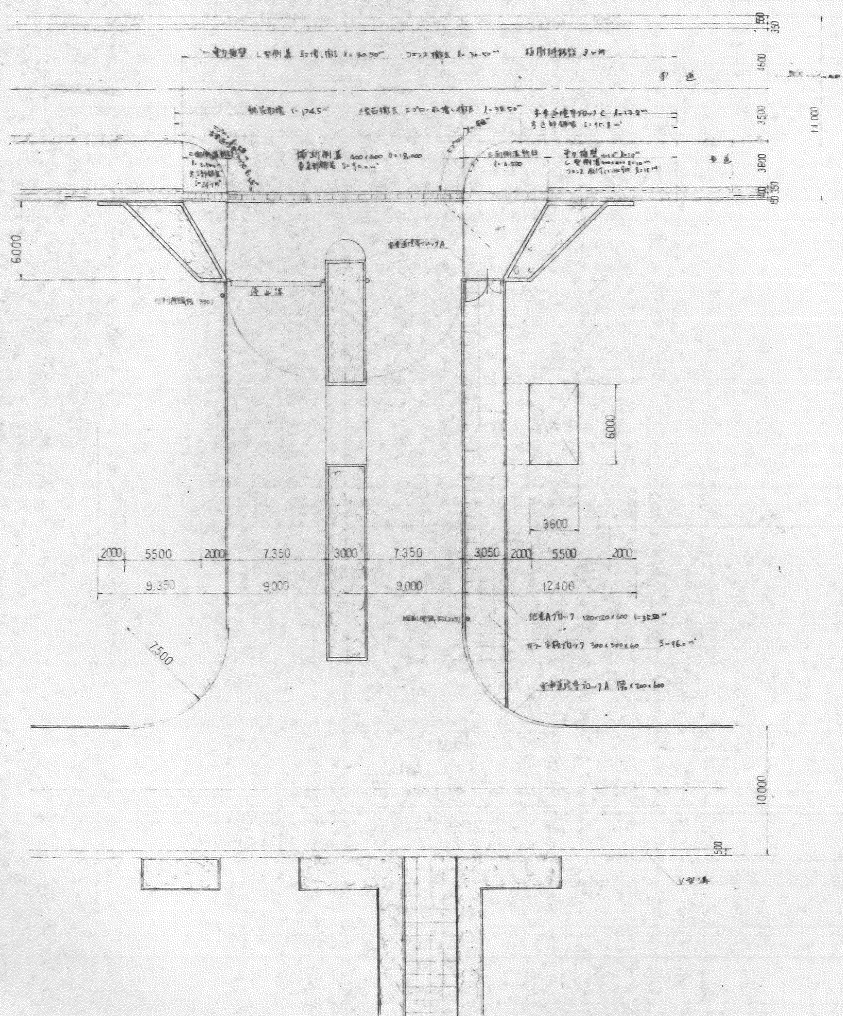
整理番号

● ● ●

承認 調査 設計

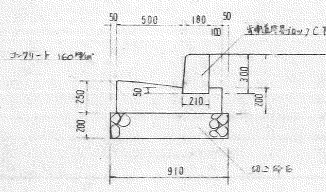
設計年月日 全案 No
 55. 9 11 510

工事名 伊勢崎市公設地方卸売市場建設 工事
 図面名称 仮設道路計画図 Scale 1/1000



主出入口平面图 S = 1:200

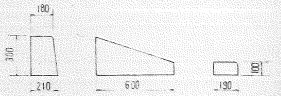
方中道埋管剖面图 S=1:20



10" 管 材料表

方中道埋管	15.4 m
方中道埋管	1.0 m
方中道埋管	1.84 m
管 材	1.82 m
管 材	4.50 m
管 材	0.22 m

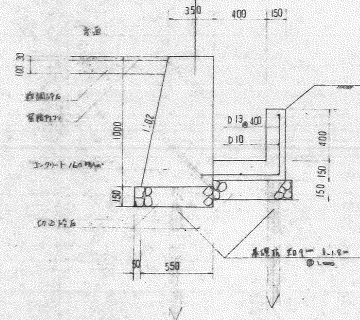
方中道埋管(斜) S=1:20



10" 管 材料表

方中道埋管	1.745 m
管 材	4.50 m
管 材	1.82 m
管 材	0.17 m

方中道埋管 L型剖面图 S=1:20



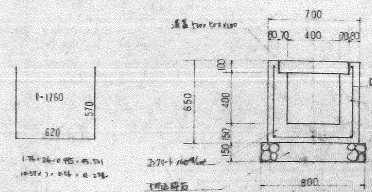
方中道埋管 10" 管 材料表

管 材	0.9 m
方中道埋管	4.5 m
管 材	20.70 m
管 材	0.45 m
管 材	10 m

L型剖面图 10" 管 材料表

管 材	0.9 m
方中道埋管	1.425 m
管 材	9.5 m
管 材	51.505 m
管 材	0.14 m
管 材	10 m

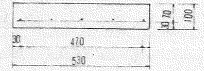
三面侧视图 S=1:20



10" 管 材料表

管 材	1.2 m
方中道埋管	2.4 m
管 材	23.0 m
管 材	85.75 m
管 材	0.24 m
管 材	20 m

派盖 S=1:10

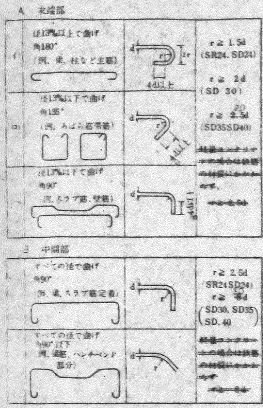


10" 管 材料表

方中道埋管	0.265 m
管 材	67.163 m
管 材	4.88 m

基準図(1) 鉄筋の加工定着及継手長さ

(詳細図と基準図の一覧しないときは
係員の指示による。(各基準図も同様))

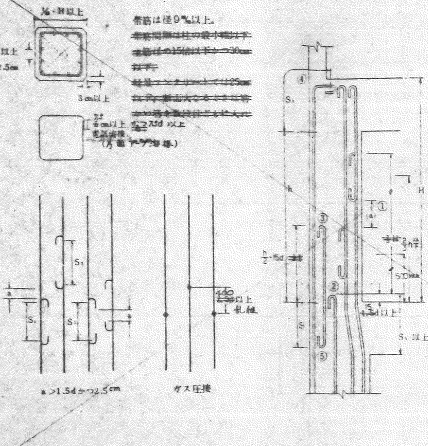


継手

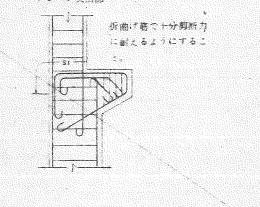
(1) 継手位置は柱、梁、床スラブの各種の
規定断面による。
(2) 断面内各々の継手は断面による。但し
の場合は原則として同一でないこと。
(3) 継手長さは規定による。
S₁: 実効引張力を受ける鉄筋の継手
S₂: 実効圧縮力を受ける鉄筋の継手
S₃: 小偏心圧縮力を受ける鉄筋の継手

鉄筋の種類	継手の種類	継手長さ	注
丸鋼	直交	30d以上	40d以上
丸鋼	平行	30d以上	40d以上
丸鋼	直交	30d以上	40d以上
丸鋼	平行	30d以上	40d以上
丸鋼	直交	30d以上	40d以上
丸鋼	平行	30d以上	40d以上

基準図(4) 普通丸鋼の柱 (かぶり・配筋・継手位置)

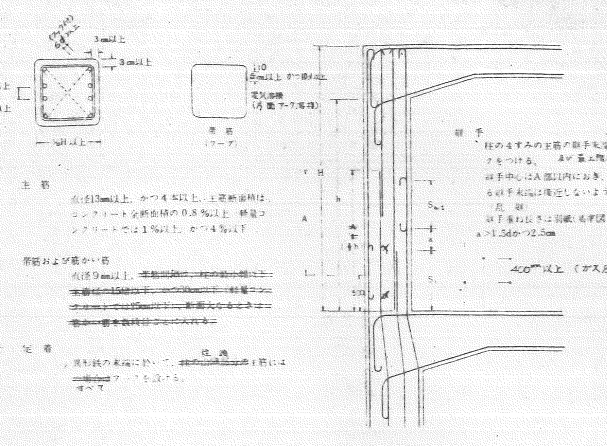


- ① 柱筋の継手位置は柱の上下端の間に柱の径dの相
等距離で配し、かつ25cm以上とする。
- ② 下階設を必要とする鉄筋は必要階の上階の梁上
より50cm以上立上げ、且つ下階より50cm以上とする。
- ③ 柱上端、又は下階の必要とする鉄筋は必要階一階
より50cm以上の長さとする。
- ④ 柱頂部の鉄筋はフック電極が頂部より梁端を越す
こととする。
- ⑤ 柱筋のつちぶさたは規定長さS₂とする。



基準図(5) 異形丸鋼の梁 (かぶり・配筋・継手位置)

基準図(7) 異形丸鋼の柱 (かぶり・配筋・継手位置)

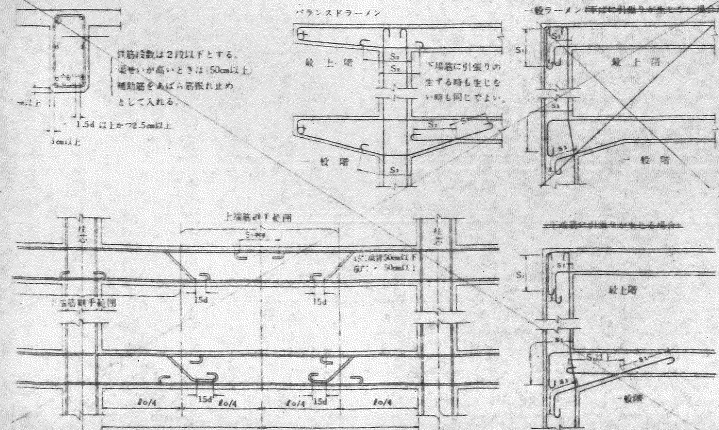


基準図(2) 鉄筋に対するコンクリートかぶり厚表

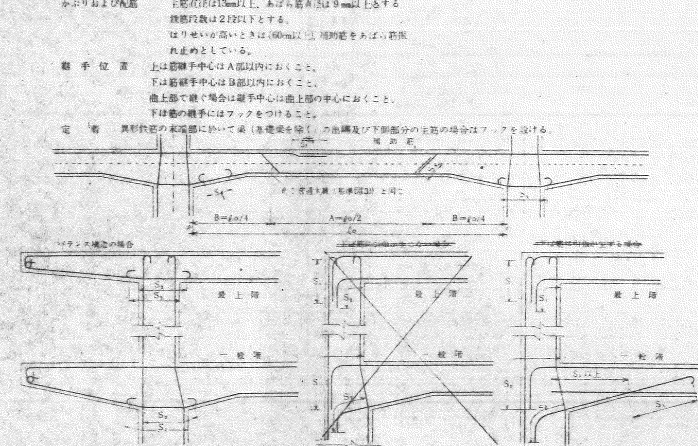
建築基準法施工令第79条による。
改正第339号 昭和25年11月15日(昭25)

鉄筋の種類	断面の形状	断面の寸法	かぶり厚
丸鋼	丸形	直径d	25mm
丸鋼	角形	辺長d	25mm
丸鋼	正方形	辺長d	25mm
丸鋼	六角形	辺長d	25mm
丸鋼	八角形	辺長d	25mm
丸鋼	十角形	辺長d	25mm
丸鋼	五角形	辺長d	25mm
丸鋼	六角形	辺長d	25mm
丸鋼	七角形	辺長d	25mm
丸鋼	八角形	辺長d	25mm
丸鋼	九角形	辺長d	25mm
丸鋼	十角形	辺長d	25mm
丸鋼	五角形	辺長d	25mm
丸鋼	六角形	辺長d	25mm
丸鋼	七角形	辺長d	25mm
丸鋼	八角形	辺長d	25mm
丸鋼	九角形	辺長d	25mm
丸鋼	十角形	辺長d	25mm

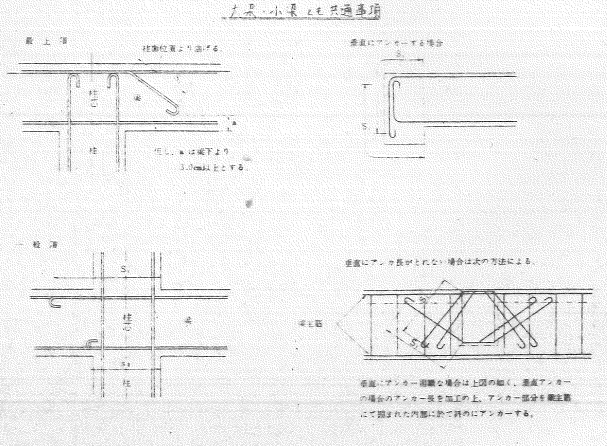
基準図(3) 普通丸鋼の梁 (かぶり・配筋・継手位置)



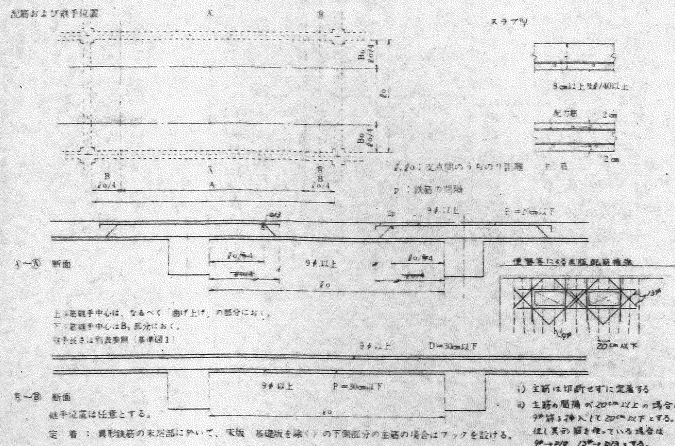
基準図(6) 桁筋柱脚構造



基準図(8) 大梁の鉄筋が柱を通して水平に定着する場合



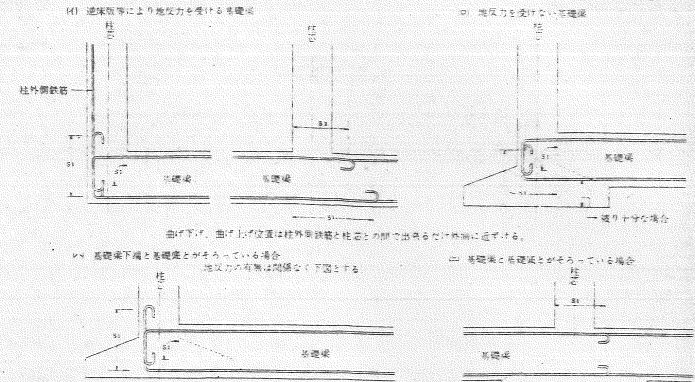
基準図(9) 床スラブ(かぶり・配筋・継手位置)[丸鋼の場合も、異形丸鋼もこれに準ずる]



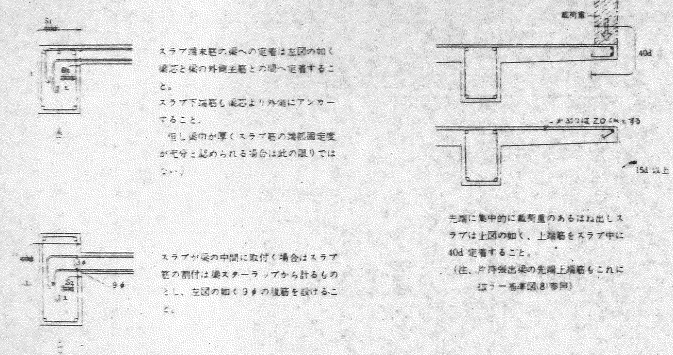
コンクリート打設についての注意事項

1. コンクリート打設は標準仕様書に基き入念に施工する。万一、豆粒、メッシュ、空洞などが生じた場合はその部分のコンクリートを完全に除去し、その部分に、同等以上の強度を有するコンクリートにて填充し、建物強度の部分的欠損を充分に補填しなければならない。
2. 特に柱脚部分のコンクリートは骨材の分離を生ずる危険性が高いので、潤滑「練方」等法、つぎ方、などに、細心の注意を払うと同時に、配筋についても、継手の位置、アンカーの重なりなどに注意して、コンクリート打設結果に万全を期し、入念な施工を行うこと。

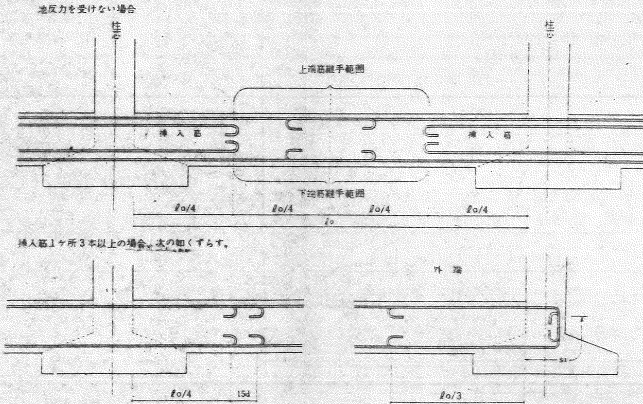
基準図(15) 基礎梁(柱)と基礎



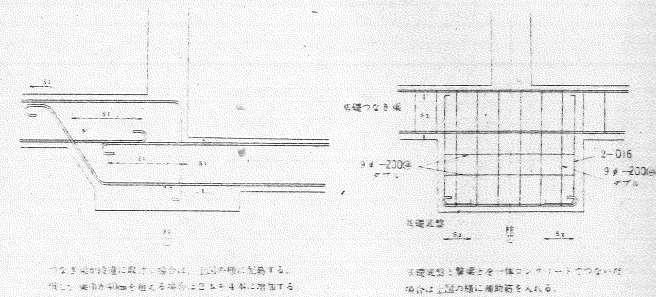
基準図(10) 床スラブ鉄筋定着



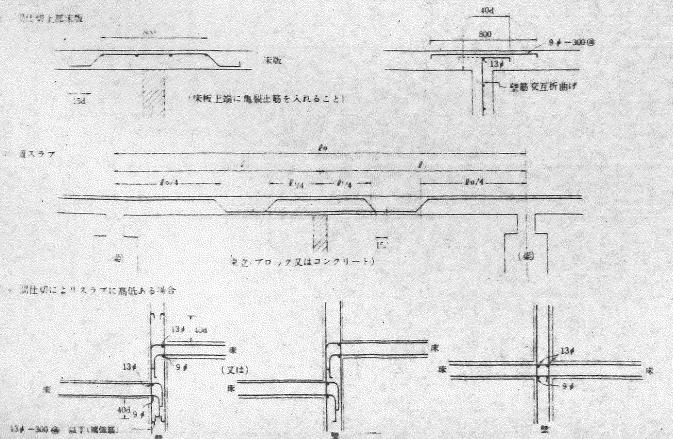
基準図(13) 地反力を受けない場合の基礎梁(主筋)の継手位置及挿入筋の長さ



基準図(16) 基礎つなぎ梁



基準図(11) 間仕切に対する床スラブ(補助配筋)



基準図(14) 地反力を受ける場合の基礎梁(主筋)の継手位置及挿入筋の長さ

